

4月23日（土）午後1時30分より富山電気ビルレストランにて平成23年定期総会が開催されました。

昭和61年より永年、県レクの会長を務めて頂いた宮本弥生会長から仲 外喜雄会長に引き継がれました。



## 新任のご挨拶

富山県レクリエーション協会  
会長 仲 外喜雄

このたびの総会で役員の改選があり宮本会長(現顧問)の後任に選任され61年の伝統ある富山県レクリエーション協会の第5代会長に就任することになりました。

レクリエーション運動に関しては、まだまだ勉強中であり、とても重責を担える器ではありませんが、力の限り協会員の皆さまのご期待にこたえてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、長らく県議会議員をいたしていたとはいえ、この方面について全くの素人ですが宮本先輩からの強い要請も有り、就任をお引き受けした次第であります。折しも、当協会が特定非営利活動(NPO)法人格を取得し、新たな歩みを始められる時期と重なり、決意を新たにしています。

さて、去年は、全国スポレク祭が本県で開催になり、私も県バウンドテニス協会長として、大会運営に参画いたしました。生涯スポーツ活動は誠に楽しく、自身の健康づくりに直結するばかりか、活動仲間との人間交流が図れる等素晴らしい特性があります。こうした活動を長年にわたり展開されてきた当協会の存続意義には誠に大きなものがあると存じます。

今回のスポレク祭が転機になり、県民の皆さんの活動参加がますます増加して行くことは確実だと存じますし、当協会への期待も膨らむことでありましょう。当協会には、福祉分野での活躍もありますが、今後、本格的な高齢社会の中でレク活動へのニーズも当然高まることでありましょう、ノーマライゼーション標榜する障がい者福祉の面でも期待が高まるはずです。

また、芸術文化や生涯学習、環境保全や人間関係など、社会のあらゆる分野でレク活動が必要となり、余暇活動の充実についての関心が高まるものと考えられます。

さて、3月11日の東日本大震災の影響には深刻なものがありますが、復興に向けて元気づくりが今求められています。また、持続可能な支援活動は被災地のみならず、世界いたるところに元気づくりがもとめられているそうです。元気づくりがお得意のレク関係者の出番がきっとやってくるものと思っています。協会員の皆さまには、できることから確実に初めて戴きたいと思えます。歩みの後ろに必ず道がつくられる事を想い、困難に立ち向かいましょう。今こそ貴方のチャレンジ精神が試される時です。皆さまの奮起を心から期待申しあげまして会長就任のごあいさつといたします。